

## 海外安全対策情報（令和元年度第3四半期）

### 1 社会・治安情勢

10月23日、大きな混乱もなく総選挙が実施された。国民議会選挙では与党BDPが57議席中38議席を確保し政権を維持し、マシシ大統領も続投となった。一方で、選挙結果の発表後、野党側が選挙において不正があったと裁判所に申し立てを行った。最大野党UDCは南アフリカの捜査会社に依頼し不正に関する調査を進め17件の国民議会選挙区において不正の申し立てを行い（1件は後に自ら取り下げ）、これまでボツワナが経験したことがない最大の選挙不正申し立てと言われている。裁判の判決が出るまではボツワナは不安定な状態に置かれることになるが（12月末から1月にかけて判決が出る予定）、裁判所から判決が下された後にも判決に対する不満が噴出する可能性もあり引き続き選挙に起因する治安の不安定化には注意が必要である。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）正確な統計、犯罪の傾向等は発表されていない。犯罪発生件数は高い水準で推移しているとみられ、引き続き注意が必要である。

#### （2）邦人被害事案

平日日中にハボロネ市内のエアポートジャンクション駐車場で車上荒らしがあった。

#### （3）邦人以外の被害事案

モホディツァーネとハボロネ市内ヴィレッジエリア外国人宅にて強盗事案があった。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ事件に相当する事案は確認されていない。

### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

外国人の被害は確認されていない。

### 5 日本企業の安全に関わる諸問題

対日感情は引き続き良好で、大きな変化はなく、日本企業が犯罪の標的とされる可能性は低いと考えられる。